

## 《単位互換提供科目詳細》

\* 科目 No. 1119

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学		科目開講 キャンパス			
2. 科目名	正式科目名	スポーツ文化論			クラス名	
	副題	文化としてのスポーツを検討する			配当年度	1
	旧科目名				受入学年	1年以上
	学問分野	番号	16	名称	その他	
	サテライトで開講される科目の科目群				A群	B群
3. 担当教員名	内海 和雄・スポーツ経営・教授					
4. 単位数	2単位		5. 開講学期	後期		
6. 開講期間 曜日・時間	2016年 9月 27日(火)～2017年 1月 17日(火) 火曜日 14:45～16:15					
個別開講日	1回目 9/27	2回目 10/4	3回目 10/11	4回目 10/18	5回目 10/25	6回目 11/1
	7回目 11/8	8回目 11/15	9回目 11/22	10回目 11/29	11回目 12/6	12回目 12/13
	13回目 12/20	14回目 1/10	15回目 1/17	16回目 /	試験日	/
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	5人 (人)		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>1. 授業内容 現代社会では、スポーツは生まれた時から身の回りで行われ、そしてやがて自分も楽しむようになります。しかし歴史に見ればこれは極めて最近のことです。もちろんこれは他の分野、たとえば音楽、絵画などの狭義の文化についてもいえることです。こうした中で「スポーツ文化とは何か」を改めて専門的に問うことなく過ぎてきました。広義の文化とは人類の作り上げたすべての社会的な事象です。したがってスポーツ文化とは狭義の意味です。スポーツを専門として専攻するに当たり、「スポーツ文化とは何か」を真正面から問いたいとおもいます。</p> <p>2. 授業計画 1.オリエンテーション：スポーツとは何か（自分にとって、社会にとって） 2.文化とは何か（広義⇔狭義、人類と社会、） 3.スポーツの歴史①：スポーツの起源（①労働+宗教儀式）、スポーツの本質 4.スポーツの歴史②：スポーツの起源（②中世の遊戯+③戦闘行為） 5.スポーツの歴史③：スポーツの起源（④近代技術） 6.スポーツの歴史④：スポーツと社会階層（成人男子、支配階級） 7.スポーツの歴史⑤：子どもスポーツ（近現代：学校スポーツ、地域スポーツ） 8.スポーツの歴史⑥：プロ・スポーツの誕生（見る=見せる） 9.現代社会とスポーツ①：身体・体力・スポーツ 10.現代社会とスポーツ②：社会発展とスポーツ（メディア、ジェンダー、） 11.現代社会とスポーツ③：平和とスポーツ①（オリンピック、国際スポーツ大会、ナショナルリズム） 12.現代社会とスポーツ④：平和とスポーツ②（グローバルゼーション、国連とスポーツ） 13.現代社会とスポーツ⑤：地域住民とスポーツ 14.現代社会とスポーツ⑥：福祉とスポーツ 15.スポーツと表現</p>					
11. 試験・評価方法	成績評価は、「平常の出席状況と受講態度」「毎回のレポート」「定期試験」の成績を総合して行います。 出席は3分の2（10回）以上が必須であり、それに満たない者は定期試験の受験を認めません。					
12. 別途負担費用						
13. その他特記事項	私語、携帯電話操作で注意された者は、2回目で教室から退場してもらい、その場合欠席扱いとします。					
14. サテライト科目の 社会人受講について	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否	
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否	